

「塩谷町庁舎整備基本計画（案）」に関するパブリック・コメントの実施結果

「塩谷町庁舎整備基本計画（案）」について、お寄せいただきましたご意見と、それに対する町の考え方を下記のとおりまとめましたので公表します。

1. 意見等の募集期間：令和元年12月11日～令和2年1月9日
2. 意見等の受付件数： 6名  
(提出方法の内訳：電子メール3名、ファクシミリ2名、持参1名)

3. 提出されたご意見及び町の考え方

番号	意見内容	町の考え方
1	<p>12月21日説明会に参加させていただきました。現在の庁舎では、防火管理上からも大変危険です。早急に新庁舎を作ってください。</p> <p>私が第一に重点を置くのは、災害の時に機能する庁舎です。想定するのは、30年以内に70%の確率で発生するとされる首都直下型地震です。塩谷町は幸いにも被害は免れそうです。しかし、塩谷町で被害があったとしても、自衛隊などは、首都圏の甚大な被害地に行ってしまうでしょう。塩谷町では自力で頑張るしかありません。そのために重要な事は非常電源の確保です。ガソリンも軽油も長期にわたり不足するでしょう。</p> <p>非常電源装置は2階以上に置くとしても、通常燃料タンクは地下に置くと思いますので防水対策も慎重にやってほしいと思います。長期に電源が復旧しない場合、太陽光発電とバッテリーも必要かも知れません。最低でもOA機器・通信機器は確保しなければなりません。(私自身はソーラーパネルとチャージャーとバッテリーでスマホ・パソコンの電源は確保できると思っています。)</p> <p>さらに、塩谷町は東京の避難者を受け入れるぐらいの目標を持ちましょう。役場だけで受け入れるのではなく、町全体で受け入れる気持ちだけでも持ちたいものです。東京に居住する親戚なども受け入れたいと思います。</p> <p>防災に強い庁舎があつてこそ、塩谷町だけでなく他の避難者を支援できると思います。機能的な庁舎を作ってください。 よろしくおねがいたします。</p>	<p>全国各地で災害が発生している近年の状況を踏まえると、災害時に町が担う役割が以前に増して大きいものとなっています。そのため、基本計画では「町民の安全を守り、救護活動や復興活動の拠点機能を果たせる庁舎」として整備することとしています。</p> <p>停電時にも重要となる設備機器の機能が維持できるよう、定格運転で3日間(72時間)の電源を確保が可能な自家発電設備の整備を想定しており、その仕様や配置等については、いただいたご意見も参考にしながら、今後具体的に検討して参ります。</p> <p>また、町民の一時避難のための機能も併せて検討して参ります。</p>
2	<p>1「庁舎整備基本計画策定委員会答申」では「防災拠点機能」が5項目と下位に位置付けされ、更に荒川の「浸水対策はハザードマップを考慮し、必要な対策を構築」とあるが、一番の懸念は、災害時の役場⇒災害対策本部</p>	<p>1. 整備場所については、昨年度基本構想策定に際して開催した「庁舎整備検討委員会」において、中心性や経済性、利便性、さらには既存施</p>

	<p>になることから、昨今の全国的な大雨では「未曾有の災害を引き起こしている」現状を鑑みれば「想定外な事が何時、何所でも起きうる気象状況」だと言う事を最重点に考慮しなければならないと思います。</p> <p>さらに、荒川上流には2か所のダムがあり、高原山系における降雨状況によっては、ダムからの溢水及びダム決壊を未然に防ぐため「ダムからの緊急放流」も想定される。</p> <p>こうした事が考えられる「リスクのある場所」にもかかわらず「答申での簡単な文言」だけで「整備方針では役場機能施設設備等の面だけを強調した内容」で整備が進められることは、次世代に誇れる施設になるとは、甚だ疑問があります。</p> <p>本町内の「荒川にかかわるハザードマップは県において策定作業が行われている」と聞いていますが、県においてハザードマップが公表された後、改めて「陸の孤島（災害対策本部機能が不能）」にならないよう、最悪の事態を回避するべく「整備場所を含めて抜本的再検討」が必要だと考えます。</p> <p>2 事業費についてですが、地盤のかさ上げ経費が計上されていませんので整備にかかわる「総事業」がわかりません。</p> <p>基本計画であるならば「本体＋施設設備＋地盤等」概算額でも示すべきだと考えますが。</p> <p>基本計画の事業費の起債ですが「償還時に交付税措置が見込まれる」としてありますが、町財政の長期財政計画の「シュミレーション」を行っているのか、町財政は交付税依存度が4割に近いと思いますが、景気動向によって財政は大きく変動してくると思います。</p> <p>さらに、町勢は人口減少と少子高齢化が一層深刻さを増すと思われる事から、税収の落ち込み、社会福祉費は増大の一途をたどらざるを得ない状況かと思えます。こうした事を踏まえ、現時点でわかる範囲での国・県等の長期経済動向予測を参考に起債償還年次毎の長期財政シュミレーションの作成・公表、わかりやすく丁寧な説明を求めたいと思います。</p>	<p>設の耐用年数や耐震性、概算事業費等の視点や要件から総合的に勘案し、「旧玉生中学校跡地」を候補地として選定したものであり、町としてはこうした経緯を踏まえ、計画地は引き続き「旧玉生中学校跡地」としています。</p> <p>なお、その答申の付帯意見の一つとして、「昨今の台風・豪雨被害の状況を踏まえ、安全性を高める方策として、敷地計画高の設定を高くするなど必要な措置を構築されたい」と付されております。また、今回の基本計画の検討においても、荒川のリスクが議論され、「栃木県で策定予定の浸水想定区域図（ハザードマップ）を考慮し、必要な対策を構築されたい」との意見が付されておりますので、現計画地が災害発生時においても防災拠点機能を果たせるよう、ハザードマップを踏まえ防災専門家等の協力を得て必要な対策を検討していきます。</p> <p>2. かさ上げ経費については、ハザードマップ公表後、必要な工法を検討した上でないと費用を算定できませんのでご理解願います。</p> <p>長期財政計画のシミュレーションは行っておりませんが、概算事業費 25.4 億円のうち地方債借入額は 8 億円を予定しています。一部交付税措置がありますので、町の実質的な負担金は 5.7 億円で、毎年の償還額は 3800 万円（償還期間 15 年）となり、公債費と起債残高の状況から見て無理のない償還額であると判断しております。</p>
3	<p>塩谷町庁舎整備基本計画（案）が今後の基本設計に向けての基本的な考え方を整理したものとして拝見しま</p>	<p>ご指摘の「車いすやベビーカーを利用する人にも十分なゆとりある</p>

	<p>したが、具体的な方針にもかかわらず、検討するとの表現が多いと思いました。例えば、車いすやベビーカーを利用する方にも十分なゆとりあるスペースを検討するのではなく、ゆとりあるスペースを確保してほしいものです。</p> <p>また、新庁舎に必要な機能については示されていますが、全体的な庁舎イメージが捉えにくいので、階層毎の配置イメージ図があると良いと思いました。P 25に2階建ての断面模式図が小さく掲示してありますが、大きく掲示するとともに、どのような断面なのか説明があるとわかりやすいと思いました。</p> <p>個々の項目では、P 7にユーティリティエリアを設けることにより、小会議室等の諸室を減らすこととしていますが、ユーティリティエリアのさらなる活用方法を構築するとともに、エリアの縮小に努め、さらなる庁舎計画面積の縮減を図ってほしいものです。</p> <p>また、P 12に自家発電設備や蓄電設備の設置について、設置場所が庁舎内なのか庁舎外に計画しているかわかりませんでした。現時点での設置場所の明記は難しいとは思いますが、設置場所によっては工事費が違うので、その設備が本体工事費に含まれているかどうかは明記してほしいものです。</p> <p>いずれにしても「少ない予算で最大の効果」を基本に今後のスケジュールのとおり新庁舎が整備されることを期待するものです。</p>	<p>スペース」は確実にやるべきものがありますので、こうしたものは明確に表記するとともに今後の具体的な設計に反映することとします。</p> <p>階層毎の配置イメージ図は、次の段階である基本設計時に具体的な内容を提示することになります。2階建ての断面模式図は、大きな表示とします。</p> <p>ユーティリティエリアについては、小会議室等の活用のほかに、作業・昼食スペースとして活用も想定していますが、適切な規模での設置を図ります。</p> <p>自家発電設備や蓄電設備は、災害時の機能発揮に加え、効率性、経済性を基本に設置場所を検討します。その費用は、総事業費の本体工事を含むこととなります。</p> <p>ご指摘のとおり、事業費につきましては、経費の縮減に努めて参ります。</p>
4	<p>新庁舎建設については、庁舎整備検討委員会 15 名により 9 回の委員会が行われ、既に、町執行部あて提出され、老朽化して庁舎環境の悪いところで執務されている職員にとっては一日も早く新庁舎建設を願っていることと思います。</p> <p>既に、昨年 12 月 12 日塩谷中学校アリーナにおいて答申書に基づいた説明会も行われましたが、何点か要望したいと思いますので検討をお願いします。</p> <p>1.旧玉生中学校跡地のグラウンドの整備 ドクターヘリの発着ともなっている、町民広場は水はけが悪く、過去には町民体育祭が数回にわたり中止するといった経緯もあるため、グラウンドの整備が必要ではないかと思えます。</p> <p>2.基本構想(案)の床面積算出について 以前に提示された、床面積算出の中に、食堂・喫茶室が 54.0 m<sup>2</sup>とありましたが、食堂・喫茶室は作るのですか？ また、作るとしたら職員用か、一般町民も利</p>	<p>1. 旧玉生中学校跡地のグラウンドについては、今後整備の必要な庁舎以外の公共施設の立地も考慮し、整備方法を検討していきます。</p> <p>2. 食堂・喫茶室については、町民の方が気軽に訪れ、くつろげるスペースとしてどのようなものが良いのか、十分検討していきます。</p>

<p>用可能か? 経営はどうするのか?</p> <p>12月12日の説明会資料の基本計画ではカフェコーナーの設置も検討するとありますが、町民が自由に利用できるように、検討でなく設置したらよいと思います。</p> <p>3.新庁舎の規模について</p> <p>学校教育課、生涯学習課を新庁舎へ配置の予定ですが、この際に是非統合して欲しいです、分散部署では仕事の効率化や経費の削減などすべてに関してスピード化が出来ると思います。</p> <p>分散していることによって、職員の打ち合わせするにも車輜での移動(ガソリン代の出費)通信費の出費(庁舎内であれば通信費の必要が無い内線で通話可能)、それに、なんととっても時間のロスがあることと思います。</p> <p>平成29年7月に行われた、説明会資料のなかで、町民の意見・要望にも「公共施設のばらけすぎ」や「公共施設を集約化した方が良い」と町民の要望で出ていることと思いますので集約した方向で検討して欲しいです。</p> <p>4.社会福祉協議会(社協)の新庁舎への配置</p> <p>東日本大震災の影響により、未だに社協事務所の玄関が利用できなく、裏口を出入りしている現状で、建物概略計画ではグラウンド内に他の公共施設の建替え用地として確保していますが、新庁舎建設で多額の経費がかかるため、社協事務所の建替えは先のことと思われます。</p> <p>過去の施設整備希望一覧表では、庁舎単体でなく複合的な施設として考える必要があることや、庁舎だよりの中のアンケート結果でも「必要な用事が1か所で済む機能」との要望があるように、新庁舎建設と一緒に、連結して同一庁舎内に配置をするとよいと思います。</p> <p>玉生小学校前のこども支援センターも新庁舎へ配置すると聞いていますので、それらを含めて、町民サイドでは新庁舎へ行けば全ての用が足りるようにするのが望ましいと思います。</p> <p>5.図書館の所在</p> <p>生涯学習センターにある図書館はどうするのか?</p> <p>過去の町内小学校統廃合により、旧東小学校校舎は多額の経費をかけて、現在の生涯学習センターや図書館を設置したことと思いますので現状のまま残すのか?</p> <p>6.概算事業費の算出</p> <p>建設敷地では、ほぼ全部が町有地で土地買収の必要は</p>	<p>3. 学校教育課及び生涯学習課の執務室は、行政効率の向上を図るため、新庁舎に統合することになります。</p> <p>4. 現老人福祉センターについては、老朽化により建替えが必要な状況にあり、敷地の有効活用や公共施設の集約化の観点から、新庁舎と同一敷地内に整備する方向で今後検討する予定です。</p> <p>5. 生涯学習センター及び図書館については、存続する方向で考えています。</p> <p>6. 進入路については、拡幅工事をする場合は、用地買収が必要となり</p>
---	---

	<p>無いとありますが、これは、新庁舎の建設予定地のみで、2か所の進入路の幅は、先の、基本構想(案)の経済性の中では、進入路改良費が必要となります、となっていたり、1月の基本計画(案)では進入路改良費1億円とあるように、それらを含めて25.4億円が概算事業費となりますか?</p> <p>7.現庁舎敷地の利用方法について 現庁舎の解体撤去費用が約1億円程度かかるようですが、敷地の約6割が借地だそうです、建物解体後は敷地だけそのまま活用するのか、地主に返還するのか? 現庁舎敷地に設置されています、トイレは多額の費用をかけて新設した経緯もあるため今後の利活用についてもオープンにして欲しい。</p> <p>8.地方債(借金)の捻出には? 12月の説明会では、5億6千万円が純債務と説明されましたが、町民の税金に頼らず、経費の節減も検討する必要もあることと思います。 新庁舎の建設にあたり、生涯学習センターなど、出先機関の集約による経費の節減、 遊休町有地の整備(遊休町有地を不動産屋にお任せし、町内居住を希望する方へ提供するか、大型施設は塩谷で営む会社に提供する)など、人口増にもなることと思そこからの税収もあるのではないかと思います。</p>	<p>ます。その買収費については、進入路改良費に含みます。</p> <p>7. 解体後の現庁舎敷地とトイレの活用については、来年度以降、公共施設再編計画策定作業の中で検討していきます。</p> <p>8. 業務改善や遊休資産の処分等の行財政計画を進め、財政の健全化に努めて参ります。</p>
5	<p>1.約25.4億円の概算事業費には別途計上項目として盛り土、外構整備費があるが、全て関連される工事を含めた金額を提示してください。また、備品(机・椅子・ロッカー・書棚・カーテン・ブラインド・パーテーション等)で、消耗品以外のもので本体工事に含まれていないものも金額を提示してください。これから適切に検討するとかの曖昧な返答ではなく具体的にお願いします。</p> <p>2.事業費の返済計画を具体的にシュミレートし、提示してください。</p> <p>3.2.に関連して、返済期間における人口増減、税収入の負担割合をシュミレートして提示してください。</p>	<p>1. 関連の工事費については、次の基本設計・実施設計の段階で詳細に検討し提示して参ります。 また、備品関係については、今後、執務空間の仕様等が確定した際に、現状で使用可能なもの及び新規購入が必要なものの仕分けを行い、その費用を算出します。</p> <p>2、3. 長期財政計画のシミュレーションは行っておりませんが、概算事業費25.4億円のうち地方債借入額は8億円を予定しています。一部交付税措置がありますので、町の実質的な負担金は5.7億円で、毎年の償還額は3800万円(償還期間15年)となり、公債費と起債残高の状況から見て無理のない償還額であると</p>

	<p>4.旧玉中跡に建設するならば、広い敷地を生かして平屋建物周囲駐車場を作り、客(町民)の動線短縮 考えてはどうか。 基礎工事が安くなり、工期短縮できるはずだが、2階にこだわる訳はなぜ。 (イメージ図有)</p> <p>5. 防災優先させた庁舎建設と考える場合、平屋の方が建物的に有利(軽い)で、職員も避難しやすい。(4.に関連)</p> <p>6. 町機能を集約した時に建物が被災した場合、本部機能が活かされないことも考えられる。 よって、既存の施設を生かし、新設はコンパクトな建物とし、どこでも本部機能を発揮できるようにしてほしい。</p> <p>7.旧玉中跡に建設した場合、水害に対しては疑問が残る。仮に建物が逃れたとして、荒川が越水した場合の職員の出勤が確保できるかきちんとしたシュミレーターの提示してください。 ダメな場合は1次避難所としても使えない。</p> <p>8.旧玉中跡について西側道路を走行すると、かなり低地なのが伺える。 このまま(逆に掘り下げるくらい)遊水池として利用した方がよいかと思う。(通常は公園・運動施設として利用) 近年、役場西の川が氾濫し、町民の生命・財産が脅かされているが、オーバースロー管を設置して 直接旧玉中跡に流すことにより被害を抑えられるのではないだろうか。現役場地下に貯水槽を中継施設として設け、圧送するのも1案かと思う。 是非ともオーバースロー設置の概算を出して、建設費を抑えてほしい。(マップ上では距離約750m高低差約4m)</p> <p>9.私的な意見としては、コンパクトな建物を新設する。 (この場合のコンパクトとは、人口減少に伴い税収の減を見込み借金せず、町民に負担がかからないこと。)</p> <p>① 役場を建て替える。 既存建物を生かし、リスクを分散させる。 旧玉中跡は遊水池利用する。</p> <p>②移転する場合 既存建物を改修し生かす。 この場合もリスクを分散させる。 旧塩谷高校、旧船生東小など</p> <p>③旧いまいずみスーパー跡(カワチ北側)</p>	<p>判断しております。</p> <p>4、5. 庁舎以外の公共施設の立地や複数の課に用件がある来庁者の平面移動距離、ランドマーク性等を考慮し、階層は2階建てを基本としたものです。</p> <p>6、7. 被災により現庁舎の機能が失われる場合を想定し、現在も地域防災計画において、日々輝学園高等学校開校館を災害対策本部の設置場所の代替施設としているところであり、新庁舎整備後も同様に考えております。</p> <p>8. 玉生宿地内の浸水対策については、来年度から検討する予定としております。</p> <p>9. 旧玉生中学校跡地を計画地とすることは、昨年度の「庁舎整備検討委員会」における答申を踏まえ決定したものでありますので、ご理解願います。</p>
6	<p>1. 塩谷町では塩谷町庁舎整備基本計画(案)に関するパブリックコメントをどの様に位置付けしているのでしょうか、パブリックコメントは1 通過点に過ぎず行ったとする実績を残す為なののでしょうか。 平成30年11月13日から平成30年12月12日まで行われたパブリックコメント(以下パブリックコメントと記す)について、パブリックコメントの結果を広</p>	<p>1. パブリックコメントは、計画(案)を住民の方に広く周知し、ご意見を求める重要な手続であると認識しています。その結果報告については、ホームページ上での公表とあわせ、閲覧も可能であります。あ</p>

<p>報誌により公表して欲しいと意見を述べられた方に対して、広報誌は町全般にわたるお知らせになりますので紙面の都合上全文の掲載は困難であります、広報誌以外の手法により意見の内容を公表します、と回答されております、然し、塩谷町ホームページと塩谷町庁舎整備だよりに於いて一部のみの公表であり意見に対する答えの実行になっておりません、ホームページはどの位の効果と認識でしょうか。塩谷町民にとって25億円或いはそれ以上かかる事業は重要政策の一つで大きな事業であり、広報誌或いは塩谷町庁舎整備だよりを増ページして町民に公表するべきではないでしょうか、庁舎建設準備室に於いて写しを求めた所が、有料ですとの答えには驚きを感じた、塩谷町庁舎整備だよりは無料にて配布されるのに何故有料なのでしょう、意見提言者にも答弁の記載された書面の無料配布はできないのでしょうか。</p> <p>2.上記パブリックコメントにおいて、塩谷町庁舎整備基本構想(案)に関する説明会の出席者が皆無に等しかったとする意見について、説明会は補完的な役割として開催したもので塩谷町庁舎整備基本構想(案)の内容を概要版の配布により理解された、と答弁されているが事実誤認で町に都合の良い解釈ではないか、何%の町民が概要版の配布により理解されたとの認識でしょうか、令和1年12月21日実施の住民説明会も同じ位置付けだったのでしょうか、理解できない人が参加したとの位置付けは誠に残念である。</p> <p>3.上記パブリックコメントにおいて塩谷町庁舎整備検討委員会の意見で玉生中学校跡地について浸水対策に関する意見の答えの中に、災害は無いとはいえないが必要な処置を講じる事で対応を図る、ハード面では洪水時に円滑に流下させる河川整備であり、荒川圏域河川整備計画に於いても継続して整備を行うとしています又ソフト面での対応が非常に重要になっております、栃木県を含めた関係機関との緊密な情報連携により、対応していく事になります、と答弁されておりますが1年経過した現在ハード面ではどのような処置が講じられたのでしょうか、7日に行われた塩谷町賀詞交換会において栃木県議会議員の1人が昨年大雨時に東荒川ダムの放流を極力伸ばすように求めた結果放流せずに済んだので被害が軽減されましたと話されました、塩谷町防災無線並びに防災メールでは時間を指定して放流する旨の放送があったが実際は放流は無かったようです、東荒川ダムが放流された場合には</p>	<p>わせて、その周知を補完するため、広報紙及び庁舎整備だよりにおいて概要的なものをお知らせしています。</p> <p>写しの交付については、本件に限らず、コピー代をいただくことになっておりますのでご理解願います。</p> <p>町民の皆様のご理解が得られるよう今後とも定期的に情報提供して参ります。</p> <p>2. 概要版については、構想及び計画(案)の要点をコンパクトにまとめたものであり、十分理解が可能なものであると判断しています。</p> <p>住民説明会は、決して理解できない人が参加するものではなく、多くの住民に参加していただき、さらに理解を深める機会であると認識しています。</p> <p>3. ハード面については、栃木県において、整備計画に基づき、計画的に河床の堆積物除却及び雑木等の撤去を進め、円滑に流下させる取組がなされています。また、町としても折に触れて県に要望もしているところです。</p> <p>先の台風では、ご指摘のとおり、ダム管理者の適切な判断により、緊急放流を実施しませんでした、被害を軽減する、特に人命を守るためには、ダム管理者との緊密な連携は欠かせないものと判断しています。</p> <p>台風19号に伴う東荒川ダム・西荒川ダムの貯水状況については、町も県と定期的に情報共有し、放流の</p>
---	--

被害があったかも？東荒川ダムが放流された場合に栃木県を含めた関係機関との緊密な情報連携をしても被害の軽減にはさほどの効果は期待できないのでは、これからは何十年に一度、の災害は頻繁にあるものと気象関係者は認識しております。

4. 今回荒川の浸水対策はハザードマップを考慮し必要な対策構築とあります、又上記パブリックコメント意見に対する答弁で安全性を確保する為に盛り土等により対策を行う事になりますと有ります、栃木県議会議員の1人が昨年各地の大雨による災害の大きな要因の1つに河川にかかる橋に流木等が留まり河川が氾濫し大きな被害をもたらしたと指摘されました、今回これ等の災害防止を想定するには建設予定地の南に位置する国道も考慮した盛り土が必要では、荒川からの浸水対策は大きな予算を伴うものでありその予算を加味しないでの事業計画には無理がある、塩谷町庁舎整備基本計画(案) 概要版5に於いて盛り土については今後適切に計画し別途計上しますとなっているがその対策費用を考慮すると資金計画に大きな影響を及ぼすはずであり、建設地の選定にも大きく影響するはずで有る、建設地の選定に関しては建設に関する費用も考慮して決めたと説明があったが現時点では盛り土についてはどの位の金額を見込んでいるのか、塩谷町庁舎整備検討委員会で諮問事項2庁舎の整備位置に関する事について、さらに安全性を高めるため、必要な対策を実施することとし、大雨により上流に位置する二つのダムの放流等により建設予定地に隣接する荒川が増水した場合に対する対策を求める内容が明記されている。最重要事項として重視すべきものである塩谷町庁舎整備検討委員会の求める内容を加味した予算計上後に比較して建設地の選定からやり直すように強く求めるものである。過去に塩谷町町民は大きな苦い経験を味わっている、塩谷町統合中学校(現塩谷中学校)建設に関して何回かの説明会に於いて、日射の影響を少なくする対策として現校舎南側及び西側の大木は伐採して低木を植栽するとの説明だったが未だ履行されないままである、又、中学校建設地は総合運動公園の駐車場として利用していたが駐車場が無くなるに等しいので、町道芦場大宮線から学校建設地に入る角地に大駐車場を設置するとの説明であったが此方も一向に実現しないままである、総合運動公園関係の工事を終了する旨の案内があり町民の意見が求められたので、現在駐車場が十分と思っている人は1人もいないと思うので、塩谷

是非についても事前に情報交換をしていたところです。

今後とも県を含めた関係機関とは緊密に連携をとって参ります。

4. 盛土(かさ上げ)にかかる経費については、ハザードマップ公表後、必要な工法を検討した上でないと費用を算定できませんのでご理解願います。

また、今回策定委員会においても、荒川の浸水対策についても十分な議論された上で、「栃木県で策定予定の浸水想定区域図(ハザードマップ)を考慮し、必要な対策を構築されたい」との意見が付されたものです。

いずれにしても、現計画地が災害発生時においても防災拠点機能を果たせるよう、ハザードマップを踏まえ防災専門家等の協力を得て必要な対策を検討していきます。

総合運動公園の施設等については、来年度以降に予定している公共施設再編計画策定作業の検討材料とさせていただきます。

	<p>統合中学校（現塩谷中学校）建設の説明会に於いて約束した駐車場の設置を求め書面にて意見書を提示したが一切の回答の無いまま現在に至っている。</p> <p>5.上記パブリックコメントに於ける答弁で、建設費の縮減については財源等の検討の中でも今後の段階において十分な精査を行い経費の節減に努めますと有りますが、その効果の説明を希望します。</p>	<p>5. 今後実施を予定する設計段階において、詳細な事業費を算出する中で必要な機能・規模等を改めて精査し、経費の節減を図ることは十分可能であると認識しています。</p>
--	---	---

◇問い合わせ先：庁舎建設準備室

TEL：0287 - 47 - 5171

FAX：0287 - 45 - 1045

電子メール：[tyousya@town.shioya.tochigi.jp](mailto:tyousya@town.shioya.tochigi.jp)